



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月8日

上場会社名 ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社  
 コード番号 6698 URL <https://www.visco-tech.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 足立 秀之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理本部長 (氏名) 滝沢 義信

TEL 03-6402-4500

四半期報告書提出予定日 2022年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	716	38.6	19		13		31	
2022年3月期第1四半期	1,167	40.4	307	196.2	312	195.7	207	197.5

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 64百万円 (75.9%) 2022年3月期第1四半期 267百万円 (471.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	5.08	
2022年3月期第1四半期	33.14	32.90

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,506	3,490	73.6
2022年3月期	4,555	3,542	74.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,316百万円 2022年3月期 3,395百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		8.00	8.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期の配当予想額は未定であるため、記載していません。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,070	2.3	560	17.0	560	19.0	370	20.3	59.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	6,440,000 株	2022年3月期	6,429,600 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	240,163 株	2022年3月期	151,463 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	6,270,139 株	2022年3月期1Q	6,262,915 株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2023年3月期1Q 29,900株、2022年3月期 29,900株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年3月期1Q 29,900株、2022年3月期1Q - 株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限の解除に伴い景気回復の兆しが認められましたが、ウクライナ問題の長期化による資源高騰を背景にインフレが進行し、これに対する各国の金融政策の違いから為替が大きく変動した事も要因とした原材料価格の高騰や供給制約も相まって先行きは不透明な状態が続いております。

当社グループの関連する電子部品市場においては、自動車電子制御部品及び半導体に関連する設備投資は比較的堅調な需要がありながらも、携帯機器市場での中国需要の伸び悩み、半導体不足やサプライチェーンの混乱による設備投資時期の調整により、厳しい事業環境となっております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間におきましては、当社グループは電子部品市場を中心とした積極的な顧客開拓・新規製品開発の継続による受注獲得に努め、車載用電子部品、コネクタ用途を中心に受注は好調に推移しましたが、売上高は前年同期比で減少となりました。

その結果、連結売上高は716,570千円（前年同期比38.6%減）、売上総利益は410,117千円（同40.1%減）、営業損失は19,439千円（前年同期は営業利益307,470千円）、経常損失は13,996千円（前年同期は経常利益312,794千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は31,825千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益207,563千円）となりました。

なお、当社グループは、画像処理検査装置事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,005,690千円となり、前連結会計年度末に比べ64,521千円（1.6%）減少いたしました。これは主に、短期借入金の増加により現金及び預金が199,159千円増加、及び販売在庫の引当により製品、原材料及び貯蔵品が43,625千円増加した一方で、売上債権の回収に伴い受取手形及び売掛金が387,789千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は500,831千円となり、前連結会計年度末に比べ15,800千円（3.3%）増加いたしました。これは主に、繰延税金資産が18,739千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は696,443千円となり、前連結会計年度末に比べ10,716千円（1.6%）増加いたしました。これは主に、前連結会計年度に係る仕入債務の支払により買掛金が31,142千円減少、及び国内における法人税等の納付により未払法人税等が36,365千円減少した一方で、短期借入金が100,000千円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は319,593千円となり、前連結会計年度末に比べ7,299千円（2.2%）減少いたしました。これは主に、長期借入金が5,832千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,490,486千円となり、前連結会計年度末に比べ52,138千円（1.5%）減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が69,742千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失31,825千円を計上、配当金支払により利益剰余金が50,464千円減少、及び自己株式の市場買付により自己株式が68,070千円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は73.6%（前連結会計年度末は74.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は前年を下回りましたが、受注は堅調に推移しております。当社グループは、案件規模等により受注から売上計上に至るまでの期間にばらつきが生じる季節的変動があります。2022年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、2022年5月10日に公表いたしました「2022年3月期決算短信」からの変更はありません。しかしながら、半導体不足や地政学的リスクの高まり等による景気減速が業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,258,715	2,457,874
受取手形及び売掛金	1,145,593	757,803
製品	309,811	320,271
原材料及び貯蔵品	277,450	310,616
その他	78,696	159,173
貸倒引当金	△54	△48
流動資産合計	4,070,212	4,005,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	67,946	68,067
減価償却累計額	△27,732	△28,909
建物及び構築物(純額)	40,214	39,158
その他	441,794	454,218
減価償却累計額	△328,682	△344,010
その他(純額)	113,112	110,207
有形固定資産合計	153,326	149,365
無形固定資産		
ソフトウェア	168,317	171,817
その他	36,309	33,471
無形固定資産合計	204,626	205,289
投資その他の資産		
繰延税金資産	20,059	38,798
その他	107,018	107,378
投資その他の資産合計	127,077	146,176
固定資産合計	485,031	500,831
資産合計	4,555,244	4,506,522

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	214,656	183,514
短期借入金	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	23,328	23,328
未払法人税等	62,623	26,258
賞与引当金	76,140	38,898
その他	208,978	224,444
流動負債合計	685,726	696,443
固定負債		
長期借入金	251,400	245,568
株式給付引当金	18,287	19,607
資産除去債務	24,052	24,098
その他	33,152	30,319
固定負債合計	326,892	319,593
負債合計	1,012,619	1,016,036
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	492,361	493,338
資本剰余金	491,253	492,231
利益剰余金	2,478,805	2,396,515
自己株式	△157,709	△225,780
株主資本合計	3,304,709	3,156,305
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	90,533	160,275
その他の包括利益累計額合計	90,533	160,275
非支配株主持分	147,381	173,905
純資産合計	3,542,624	3,490,486
負債純資産合計	4,555,244	4,506,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,167,085	716,570
売上原価	482,409	306,453
売上総利益	684,675	410,117
販売費及び一般管理費	377,205	429,557
営業利益又は営業損失(△)	307,470	△19,439
営業外収益		
受取利息	950	2,341
為替差益	6,535	4,428
その他	80	257
営業外収益合計	7,566	7,027
営業外費用		
支払利息	1,541	883
支払手数料	701	700
その他	0	0
営業外費用合計	2,242	1,584
経常利益又は経常損失(△)	312,794	△13,996
特別損失		
固定資産除却損	—	15
特別損失合計	—	15
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	312,794	△14,011
法人税、住民税及び事業税	56,639	21,688
法人税等調整額	34,455	△18,736
法人税等合計	91,094	2,951
四半期純利益又は四半期純損失(△)	221,700	△16,963
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,136	14,861
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	207,563	△31,825

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	221,700	△16,963
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	45,310	81,404
その他の包括利益合計	45,310	81,404
四半期包括利益	267,011	64,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248,980	37,916
非支配株主に係る四半期包括利益	18,030	26,524

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式88,700株の取得を行いました。この取得により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が68,070千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が225,780千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の連結財務諸表「注記事項（追加情報）」に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。